

いきいき弥小っ子



がんばりました！がんばっています！

弥彦小学校 校長 石黒和仁

学校だより 8 号（9 月 10 日）にて、「がんばることは必要。がんばってほしい。がんばらせる。」と述べました。村が育成を目指す資質・能力の「粘り強さ」です。

9 月 13 日（金）、燕市・西蒲原郡小学校親善陸上大会でした。6 年生がすばらしい走り、跳躍をしてくれました。がんばって練習してきた成果です。

9 月 20 日（金）、全校弥彦山登山でした。ペア学年であるなかよしグループで、助け合い、励まし合いながらがんばって登り切ることができました。ボランティアの皆様、ありがとうございました。



9 月 29 日（日）、PTA 環境整備作業でした。多くの保護者のがんばりにより、無事に教室の引っ越し作業等を終えることができました。ありがとうございました。

30 日（月）から新しい環境での学校生活が始まりました。みんなの力でがんばってきれいにしていこう、と伝えました。

9 月 30 日（月）、校内マラソン大会でした。練習のときは、おしゃべりをしたり自分の力より遅いペースで走ったりするなど、がんばりが足りない子どももいました。ですが、大会当日は、みんなが本当によくがんばって走りました。歯を食いしばって、顔をゆがめながら走り、自分の目標を目指してがんばる子どもの姿がありました。そして、走り終えて自他のがんばりを称え合う姿がありました。いい姿でした。応援、ありがとうございました。

なお、当日に調子を落とし、悲しむ子どもがいました。「先生方は、当日の結果だけでは判断しません。これまでのがんばり、普段のがんばりをしっかり見ています。」と伝えました。

10月3日（木）、創立50周年記念「東北電力にいがた・新潟日報スクールコンサート」でした。演奏者からは、子どもたちの聴き方、反応（ノリ）、校歌（歌い方）がとてもよかった、と言っていました。これも、音楽でのがんばる姿です。

その日の模様がインフォーマーシャルCMとして、
NST Live News it! 2部
10月17日（木）、17:53～19:00の間に、1分間流れます。お楽しみに。

**プロの音色
児童が堪能**

弥彦
プロの音楽家が学校に向く「東北電力にいがた・新潟日報スクールコンサート」



プロの演奏を楽しんだスクールコンサート―弥彦村

新潟日報スクールコンサート」が弥彦村の弥彦小学校で開かれた。子どもたちはレベルの高い演奏を聴き、クラシック音楽の奥深い世界に触れた。

子どもたちに音楽の素晴らしさを実感してもらおうと、東北電力が2006年度から県内各地で開いている。3日は県出身・在住者の音楽家をつくる「新潟・A RS NOVAアールス・ノヴァ」の18人が訪れ、児童や保護者約500人を前に10曲ほどを披露した。コンサートは「威風堂々」や「剣の舞」など聞きなじみのある曲を中心に構成された。子どもたちは「この曲知ってる」と友達と顔を見合わせながら、じっくり聞き入っていた。最後は生演奏に合わせて校歌を歌い、体育館に元気な声を響かせた。6年生の松宮颯（は）さん（12）は「間近で見るプロの演奏は迫力がすごい。知らない楽器がいっぱいあった」と楽しんでいた。

4日には燕市の燕北中学校でもコンサートが行われた。

10月9日 新潟日報

今は、普段の授業や活動に加えて、10月26日（土）の創立50周年記念式典・文化祭に向けて、全校合唱、呼びかけ、絵画をがんばっています。

「がんばらせる」ことを見極める

いくら楽しい学習や活動においても、がんばらなければならないことはあります。家族でのお出かけの中でも、ルールやマナーなど、がんばらなければならないことがあるはずです。

大事なものは、私たち大人が、普段から、子どもにとって必要なことを見極め、褒めたり励ましたりして、がんばることができることやがんばるべきことは、しっかりとがんばらせ、がんばることが難しいときは手を差し伸べることではないでしょうか。これが子育てであり、教育であり、躰（しつけ）であると思います。

（文責：ラグビーやサッカー、野球、バレーボール etc

する、見る、知る。スポーツの秋を満喫している校長 石黒和仁）